



No.98 2011・2・10

ISHIKAWA-KEN HISTORY MUSEUM
発行 石川県立歴史博物館
〒920-0963 金沢市出羽町3番1号
TEL.076(262)3236 FAX.076(262)1836
<http://www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/>



企画展

れきはくコレクション 2010



英国製ランプ

会 期 2月19日(土)～3月21日(月・祝)会期中無休
会 場 第1特別展示室
開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
入館料 一般 250円(200円)
大学生 200円(160円)
65歳以上の方は200円 高校生以下無料
()内は20名以上の団体料金

英国製ランプ

スタンドに施された鮮やかな水色と金の彩色が印象的なランプ。箱書きに「英国製ランプ」、「木谷家旧蔵 4本2対」とあり、このランプが、江戸期から明治初期にかけて廻船業で栄えた河北郡粟ヶ崎の豪商・木谷家の所蔵品の一つであったことがわかります。

安政5(1858)年生まれの木谷吉次郎は、明治25(1892)年以降、粟ヶ崎を離れ、本格的に神戸に進出し、日本米の輸出等によって巨万の富を築きました。質素倹約を旨とし、晩年は学校・研究者等への寄附に私財を投じ、無給で粟ヶ崎村長をつとめるなど、社会に貢献した人物です。

このランプが贈答品だったのか、購入品だったのか、現時点では明らかになっていません。豪華なランプとは対照的に質素な生き方をした、木谷吉次郎ゆかりの品です。

企画展

れきはくコレクション2010

開催によせて

当館では、皆様のご好意により寄せられた寄贈資料および購入資料をお披露する展覧会を毎年開催しております。おかげ様をもちまして、平成二十二年度も石川県の歴史を伝える、多くの貴重な資料をご寄贈いただき、「れきはくコレクション2010」資料が語る石川の歴史「」を開催する運びとなりました。この紙面をお借りして、資料をご恵与賜りました皆様に、改めて御礼申し上げます。

購入資料は口絵で紹介した英国製ランプ一対です。寄贈資料のうち、歴史資料は、近世の陣立図、能登天領の庄屋・松尾家に伝わった近世・近代資料、鉄道資料、戦時中の生活資料など、多岐にわたります。民俗資料は、平成二十二年度夏季特別展「トキ舞う空へ」でも一部公開した村本義雄氏より石川県にご寄贈いただいた貴重なトキ保護活動資料をはじめ、昭和期の花嫁暖簾などを展示いたします。

なお、今回は展示資料に関するクイズをご用意いたしましたので、ぜひご参加下さい。みなさまのこ来館を心よりお待ちしております！

関連事業

列品解説(事前申込不要)

- 二月 二十日(日) 学芸主幹 本谷文雄
- 二月 二十七日(日) 学芸員 塩崎久代
- 三月 六日(日) 資料課長 濱岡伸也
- 午後二時～二時三十分

参加ご希望の方は入館料が必要です。

れきはくメイト会員は会員証提示で無料となります。

平成22年度収蔵資料一覧(平成22年2月～23年2月4日現在)

資料名	点数	寄贈者(敬称略)
歴史資料		
鉄道資料	3	近藤修
鉄道資料	119	池田俊広
石川国体関係資料	3	池田俊広
塗空穂	1	村上珠子
七絶帖	1	石井久也
往復書簡	1	石井久也
石川県観光地絵葉書	24	和泉富夫
石川県観光地パンフレット	10	和泉富夫
陣立図	1	池田茂
前田利嗣印譜集	1	池田茂
戦争・銃後のくらし等資料	20	白尾佳美
女子用教科書他近代資料	28	竹中等
竹下佐太郎日露戦争関係資料	12	竹下哲夫
第九師団経理参考書類	1	北川定義
近藤修氏鉄道コレクション	31	近藤修
民俗資料		
鳥籠	3	吉村みちよ
鳥籠	1	政氏藤平
鳥籠	1	山本義雄
鳥籠	2	木村直知
鳥籠	2	加藤佳江
花嫁暖簾	1	池田俊広

資料名	点数	寄贈者(敬称略)
蚊帳	1	池田俊広
鶯茶地芥子文様丸帯	1	池田俊広
淡黄地御所車菊扇面文様丸帯	1	池田俊広
鳥籠	1	白山正雄
鳥籠	1	高田二三男
鳥籠	2	中森静子
鳥籠	1	喜多留治
鳥籠	4	加藤勉
鳥籠	2	中森一久
鳥籠	2	的場喜一
鳥籠	1	嶋田義之
鳥籠	1	松田力造
鳥籠	2	松島信雄
霞網	1	松島信雄
鳥籠	1	竹内美幾
花籠蒔絵図盆	2	石浦光枝
鷹狩り用蓑	1	村上通代
美術品		
松尾家資料	2446	松尾進馬
短刀	1	金谷雅俊
脇指 無銘 附拵え	1	磯部啓治
英国製ランプ	2	購入
受け入れ資料合計	2,741	



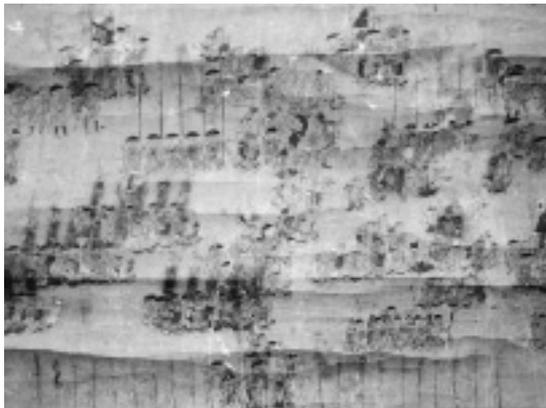
鉄道資料(池田氏)



七絶帖



塗空穂



陣立図



石川県観光地絵葉書



花嫁暖簾



松尾家資料

貸出中の館蔵品

他の施設でも見られる歴博の貴重資料

歴博の館蔵資料は総数約十六万点にも及びますが、その一部は、県内外を問わず、他館の展覧会に貸し出されることとが少なくありません。また放送局や出版社へのポジフィルムなどの貸し出しも、よく行われています。展覧会や催し物などに比べるとあまり知られていない業務ですが、これも博物館の重要な仕事のひとつなのです。

・「四季耕作図屏風」(伝佐々木泉景筆)

計一件一雙

特別展「描かれた農 四季耕作図の成立と展開」

二月五日(土)～三月二十一日(月・祝)

会場：安城市歴史博物館

(愛知県安城市・〇五六六 七七 六六五五)

・「金平鉞山絵巻」(石川県指定文化財)

・「芭蕉翁図」

・「六祖禅師米搗図」

・「月見布袋図」

計四点

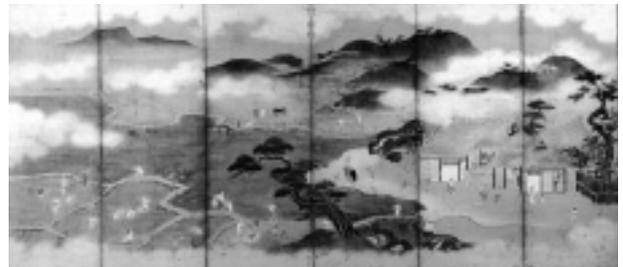
企画展「前田土佐守家臣

武人画家 矢田四如軒」

一月二十九日(土)～四月十七日(日)

会場：前田土佐守家資料館

(金沢市・〇七六一 一三三三 一五六一)



四季耕作図屏風(右隻)



四季耕作図屏風(左隻)



芭蕉翁図



六祖禅師米搗図



月見布袋図

主な刊行物のご案内

(税込定価)

石川県立歴史博物館展示案内	一	〇〇〇円
石川県立歴史博物館蔵品目録	二	五〇〇円
モダンの調べ 蓄音機	三	〇〇〇円
太子信仰と北陸 聖徳太子へのあこがれ	四	二〇〇円
永光寺の名宝	五	二〇〇円
紀尾井町事件 武士の近代と地域社会	六	七〇〇円
祝い絵 ティスブレイの民俗誌	七	〇〇〇円
能楽 加賀宝生の世界	八	二〇〇円
利家とまつが生きた時代 戦い・くらし・女たち	九	九〇〇円
景勝をめぐる いしかわの景観史	一〇	二〇〇円
いしかわの歌仙絵馬	一一	四〇〇円
風俗画伯 巖如春 都市の記憶を描く	一二	四〇〇円
源平合戦と北陸 義経伝説を育んだふるさと	一三	六〇〇円
加賀百万石への道 戦国から太平へ	一四	二〇〇円
昭和ワンダーランド モノでたどる戦後	一五	〇〇〇円
石川のお宝史 名宝から文化財へ	一六	三〇〇円
弥生ムラの風景 越のクニ生み・境界・交流	一七	二〇〇円
御用絵師梅田九栄と俳諧 芭蕉の教えを守った男	一八	三〇〇円
肖像画にみる加賀藩の人々	一九	四〇〇円
×OSOJIBO・華・線・乱 丸紅所蔵衣裳名品展	二〇	五〇〇円
春日懐紙	二一	五〇〇円
本願寺展 世界遺産の歴史と至宝	二二	三〇〇円
トキ舞う空へ 鳥と人の文化史	二三	〇〇〇円
徳川將軍家と加賀藩 姫君たちの輝き	二四	〇〇〇円
最新刊	二五	〇〇〇円



総合カウンターで販売中。定価はすべて税込。郵送ご希望の方は、当館へ直接お問い合わせいただくか、当館ホームページ「刊行物案内(図録等)」をご覧ください。(電話〇七六一 二六二二 三三三六)

秋の歴史散歩「新涼の卯辰山寺院群」



いただきました。全性寺、三玉寺、心蓮社、月心寺をたずね、途中ご住職様からの説明をいただきながら、急な坂道の多い道のりを全員元気に歩きまりました。まだまだ、魅力あるお寺がたくさんあるこの地を、「また訪ねたい」という声皆さんから聞かれました。

十月八日、あの暑かった夏を思い出すようなお天気のもと、秋の歴史散歩が行われました。今回は、卯辰山寺院群を巡るコースで二十三名の方々にご参加

徳川、前田両家の御当主対談が実現

九月二十三日、秋季特別展「徳川將軍家と加賀藩 姫君たちの輝き」の開幕にあわせて徳川、前田両家の御当主対談が石川県立美術館ホールにおいて行



われました。家康公、利家公から数えてそれぞれ十八代目に当たる両氏の軽妙なやりとりで、会場を埋めた観客の皆さんはおいに盛り上がりました。また、両家にゆかりの深い姫君たちの貴重な品々の展示を中心とした特別展は盛況の内に終了しました。

催事日録



石川の歴史遺産セミナーが十一月十四日に開かれました。第一部は、講師三名をお迎えしての講演会で、能登の古来からの地理的特色、交渉・交流の歴史を明らかにしながら、近代の北海道や満州への開拓移民の視点を通して能登の歴史をふりかえりました。第二部は講演会の内容を踏まえて、脇田館長も加わったパネルディスカッションが行われ、会場の皆さんも熱心に聞き入っていました。

十一月十二日、「越前・伝統工芸のルーツと名園の旅」と銘打たれた秋のバスツアーが、三十九名の参加を得て開催されました。お隣、福井県の伝統工芸発祥の地をめくりながら、その歴史と伝統を伝える技にふれ、名勝庭園や重要文化財の神社を見学。そして、もう一つのお楽しみである昼食は、名物越前そばをはじめとした和食御膳を堪能しました。なんとか雨にあうことなく全行程を終了し、良い一日となりました。



歴史遺産セミナー「能登と移民 - 北海道と満州 -」

秋のれきはくバスツアー開催

行事日録(2)3月

月日	行事	内容
2/19(土)	れきはくゼミナール	近世初期金沢の世相 (学芸員 塩崎久代)
3/4(金)	常設展示ワンポイント解説	出撃木簡に学ぶ (学芸員 戸潤幹夫)
3/19(土)	れきはくゼミナール	高度経済成長と石川 (学芸員 小森康弘)



れきはくゼミナール



常設展示ワンポイント解説

開講時間：午後2時
会場：常設展示ワンポイント解説：各関係展示室
れきはくゼミナール：学習ホール
受講料：常設展示ワンポイント解説：展示室内行事につき、入館料が必要
れきはくゼミナール：無料
申し込み：不要 当日受付へお申し出下さい。

お知らせ

常設展示室 歴史体験コーナー 近現代編 4月6日(水)～8月28日(日)

楽しい歴史体験ができる人気コーナー。今回は近現代編に模様替えです。「住」と「遊」をテーマとして、明治維新以来、ここ百数十年間の変遷に急変した様子を、生活用具や身の回りの音のクイズで体験できます。

展示替え等による休館日(2)3月

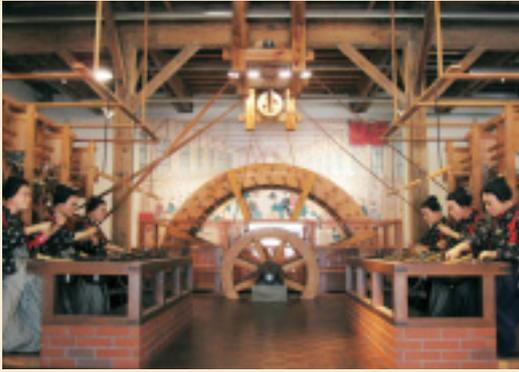
- 2月17日(木)～18日(金)
- 3月22日(火)～23日(水)

れきはく
トリヴィア

誰が一番美人？

渡り廊下から第三棟へ入ると、吹き抜けの開放的な空間が広がります。この第五展示室には金沢製糸場の復元模型が展示されています。

金沢製糸場は明治七（一八七四）年、殖産興業と授産の目的で創設された、県内初の近代工場です。当時、官営の富岡製糸場に次ぐ規模を誇り、糸繰り機一〇〇台、女工二〇〇人を擁しました。一説には、この工場で我が国初の米国向け輸出用糸が生産されたと言われています。



金沢製糸場復元模型（第五展示室）

鞍月用水から水を引いて動力とし、作業場にあつた水車の大きさは、文献によると「径九尺」（直径約三メートル）でした。模型の水車も、これに合わせた大きさにしています。ただし、当時は水車に税金がかかり、その大きさが課税額の基準で

した。特に「径九尺」を超えると金額が上がったため、多額の課税を避けるために、「径九尺」と表記した可能性もあるとか…製糸場の水車は、実際はもっと大きかったのかもしれませんが。

さて、復元模型には六人の女工さんがいます。製糸場の女工という「あゝ野麦峠」に象徴されるような、過酷な労働と悲惨な環境を想像するのではないのでしょうか。しかし明治初期の金沢製糸場は、女子の働き口としては最先端であり、設備・環境も整っていたと考えられます。袴姿の女工たちはその大半が土族の子女であり、製糸の技術を習得した彼女たちは、いわばエリートでした。

博物館のお客様の中には、展示室に足を踏み入れるなり、この女工さんに驚いて「わっ！」と声を上げる方も少なくありません。マネキンなどと違い、やけにリアルな表情の彼女たち。よく見ると、一人一人顔立ちが違います。実は全員、実際の女性の顔をしているのです。復元模型を製作する際、より自然な顔立ちにするため、当時の女性スタッフの顔から直接型を取って（！）作られたとのこと。展示へのこだわりが感じられる逸話です。

復元模型の完成から約二十年、もしかしたら、女工さんと同じ顔の女性と、どこかですれ違っていたかもしれませんね。



金沢製糸場の女工さん（第五展示室）

トリヴィア＝雑学的な事柄や知識 豆知識

平成二十三年度れきはくメイト
会 員 募 集 !!

対象 なたでも入会できます。
期間 平成二十三年四月一日～平成二十四年三月三十一日（一年間）
会費 年額一、〇〇〇円
特典 広報誌「石川れきはく」、情報誌「れきはくメイト情報」ほか博物館の最新情報が随時送付されます。また会員証の提示により、常設展の入場が無料（特別展開催時は団体料金）になるほか、「歴史散歩」や「バスツアー」など当館主催の各種行事に参加できます。
入会受付 二月上旬より随時受け付けています。ご希望の方は申込用紙に所定事項をご記入の上、会費を添えて当館総合カウンターへ直接お申し込み下さい。郵送でお申し込みの場合は現金書留が定額小為替でお願いいたします。
申し込み・お問い合わせ先 当館普及課 〇七六 二六二 三四一七



バスツアー



会員証見本



歴史散歩

本多の森から

兼六園周辺の回遊性を高める整備工事が一段落し、県立美術館との間の芝生に赤煉瓦敷きの通路ができました。ロードヒーティングという水の出ない融雪装置のおかげで、冬でも足元を濡らさず快適に歩くことができます。視界を遮っていた公園の樹木も整理され、博物館の赤煉瓦をすっきりと見通せるようになりました。照明も増設され、より安全で雰囲気の良い空間になっています。夏の豊かな緑を思うように少し惜しい気もしますが、多くの方に気軽に訪れていただければ幸いです。来年度も、歴史博物館をよりよくお願い致します。